

キャンプ場の行う食育

～自然の魅力を農業体験から学ぶ～

ヴィレッツ白州管理組合（代表者 小林富士男）は、北杜市白州町の標高1,130mのカラマツや白樺に囲まれた自然豊かな平久保池のほとりにあるキャンプ場「ヴィレッツ白州」の管理運営を行う。湖畔には19棟のコテージ、キャンプサイトがあり、カヌー体験やニジマス釣りなどのアクティビティを楽しむことができる。また、晴天率も高く、澄んだ空気の中、夜には満天の星が広がる。

当組合では5月3日と4日に地元農家の協力のもと白州地区の田んぼにおいて田植え体験を開催し、県内外の小学生と関係者25名が苗の手植え作業に挑戦した。自然豊かな里山の中、泥に足をとられたり、水中の様々な生き物に驚いたり、初めての田植えに苦戦していた子供たちも徐々に慣れてきた様



田んぼに入り楽しく田植えを体験

子で、のどかな風景の中に賑やかな声が響いていた。植えられた苗は地元農家が育て、秋には子どもたちの稲刈り体験を予定している。

代表の小林氏は、「泥の中は、じんわり暖かくて、気持ちが良いので、たくさんの生き物がいることを子どもたちは泥んこになり知る機会となったと感じている。田植え体験は都会ではなかなか経験することのない泥に触れながら食の大切さ、生産・収穫の喜びを肌で体感してもらいたい。」としている。

この他にも関係者との連携によりキャンプサイトへのテントサウナ設置（不定期）や音楽イベントの開催も予定されている。新緑の春には、鳥たちのさえずりの中、山歩きに、山菜採り。秋には美しい紅葉の中、遊歩道のお散歩や、すぐ上の登山口より雨乞岳への登山や、トレッキング。山菜採りや、きのこ狩り、山栗拾いなど、季節ごと自然の恵みを楽しむことができる。2024年のキャンプ場運営は11月上旬まで。



のどかな環境のヴィレッツ白州



担当・神山